

従業員の健康増進後押し

健康経営マイレージ事業2020年度優秀事業所決定

鳥取県内事業所の健康経営への取り組みを後押しするため、全国健康保険協会(協会けんぽ)鳥取支部と鳥取県が連携して実施する「健康経営マイレージ事業」の2020年度の優秀事業所が決まった。支部長表彰された16事業所のうち、取り組みやすさや工夫点など独自の実践活動が特に優れていると評価された4事業所が知事表彰に輝いた。従業員の心身の健康増進に努める積極的な取り組み事例などを紹介する。

県民の健康長寿実現願う

鳥取県知事 平井 伸治



奇跡の人と呼ばれるヘレン・ケラーは「世の中は辛いことではないですが、それに打ち勝つことも満ち溢(あふ)れています」と言っています。皆でコロナに打ち克(か)ち、コロナを克服していく第一歩は、職場や家庭、地域で「健康づくり」を発展させ、大切な命

と健康を守り抜くことです。本県では、職場での健康づくりを拡(ひろ)げていくため、「健康経営マイレージ事業」を実施しています。今では健康経営に取り組む事業所は2300を超え、その比率は全国トップです。健康づくりの文化が各事業所へ広がることで、県民の皆さまの健康長寿が実現することを願ってやみません。これからも皆さまとともに挑戦してまいります。

取り組みやすい活動評価

協会けんぽ鳥取支部支部長 吉田 和徳



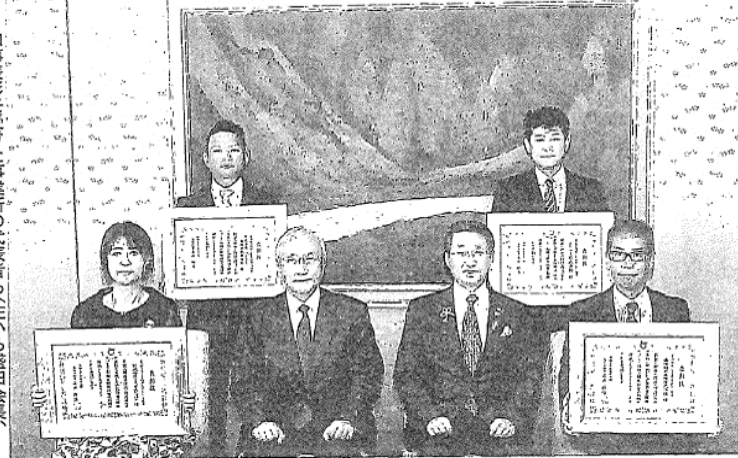
「健康経営マイレージ事業」参加事業所は、2300社を超えるまでとなりました。職場で働く方々の健康増進を図ることが、企業の発展につながる。本事業の主旨をご理解いただいた結果と喜んでいきます。また、活動の効果として、健康増進が図られたことにより、参加事業所の年間一

人当たり医療費が未参加事業所に比べ低くなっており、その額は令和元年度で1万6千円を超えています。この事業に参加するための条件はありません。取り組めることからスタートできる事業所です。本年度の知事表彰事業所の活動も、他事業所でも取り組みやすい活動で、その点も評価されました。これらの取り組みの紹介などを協会けんぽがお手伝いします。多くの事業所の参加をお待ちしています。

鳥取支部長表彰

- ・ 向井組 (倉吉市)
- ・ 木村屋 (米子市)
- ・ 鳥取部品 (琴浦町)
- ・ 三徳興産 (米子市)
- ・ 西川商会 (鳥取市)
- ・ ノンパディー (鳥取市)
- ・ 鳥取県倉吉自動車学校 (北栄町)
- ・ トータルゲート (鳥取市)
- ・ アルマック米子 (鳥取市)
- ・ 田中工業 (鳥取市)
- ・ 福井事務機 (米子市)
- ・ 鳥取医療生活協同組合 (鳥取市)

知事表彰を受けた事業所の代表者(左から)盛田会長、西村所長、吉田支部長、平井知事、戸田部長、細木部長



4事業所を知事表彰

オフィス・IT商社
モリックスジャパン
(鳥取市、初)
盛田 真理代表取締役会長

「目標達成者に報奨金支給」
会社が元気であるために、社員一人一人の健康が大切と考える。朝礼時にストレッチをしたり、大山登山や鳥取マラソンの参加者、体重4kg減の目標達成者に報奨金を支給するなど、社員の運動習慣の定着に努めている。今後も持続可能な取り組みを実施していきたい。

エネルギー会社
山陰酸素工業
(米子市、2回目)
取締役執行役員
細木 晃 総務経理部長

「オフィスで野菜」を導入
社員の健康対策を重要な経営課題と位置付けている。課題としていた食のサポートに關し、サラダなどを手軽に購入できる野菜中心の置き食サービスを導入した。食習慣を見直すきっかけになればと考えている。今後も継続的に社員の健康増進の後押しをしたい。

建設・電機製品卸売会社
エレックス
(米子市、2回目)
戸田 英夫取締役営業部長

楽しく交流しながら健康
社内の健康への意識がへりに長年努めてきた成果として、喫煙者も健診での再検査数が以前より減少した。昨年は社員のために「つづつ足踏み青竹を設置し、手軽な健康法を試みたが、コロナ後は楽しく交流しながら健康になれる我が社本来の健康経営を進めていきたい。

縫製会社
ニット工房 鳥取中部事務所
(倉吉市、初)
西村 貴征所長

元気で長く働ける会社
従業員が元気で長く働ける会社になりたい。そのためには「継続は力なり」をモットーに、従業員の声も聞きながら一緒に進んでいきたい。従業員とその家族の心身の健康が働ける「1人1人」を大切に、今後も働ける「1人1人」の健康増進に努める。

知事表彰初受賞企業の取り組み

モリックスジャパン
同僚への気配りや職場での助け合いなど、仕事の評価として数値化が難しい社員の何気ない



足型シ
会社として、従業員の健康を第一に考え、日常的にできる運動を取り入れたり、生活習慣改善のサポートを積極的に進めて

ニット工房鳥取中部事務所
会社として、従業員の健康を第一に考え、日常的にできる運動を取り入れたり、生活習慣改善のサポートを積極的に進めて



コロナ
社員の健康への関心が高まり、健康経営マイレージ事業に参加する鳥取県内の事業(企業・団体)数は今年10現在、2058。直接事業訪問し、同事業への参加を促す機会が限定されたコロナ禍で、昨年同時期より約10%増えた。
同事業は、2014年10にスタート。県内の協会けんぽ加入事業所が同宣言を行った上で、八十数種類紹介